

広報 ひろば **たいせつ**

9月号目次

- P 2～3 … 第9回田んぼアートフェスティバル
- P 4～5 … たいせつなここがポイント
- P 6 …… たいせつHOTニュース
- P 7 …… JAグループ通信
- P 8 …… 理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ
生産資材課からのお知らせ
法律相談日のご案内



たいせつ



田んぼアート巨大押し寿司完成！

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>

フェスティバル開催!

8月19日(土) 午後1時
真夏を思わせる気温と快晴の中、鷹栖中学校吹奏楽部のオーブニングセレモニーの演奏により「第9回田んぼアートフェスティバル」が開会しました。総合同会には、ラジオのパリソナリティや各イベントなどで活躍されている旭川市出身の「林ゆかり」さんをお招きし、会場を盛り上げて頂きました。

オーブニングセレモニーの後、メインステージ前では地元小中学生の子供達で構成されるダンスグループ、「ブラウセルン&ファンキーディーヴァ」による元気あふれるはつらつとしたダンスが披露され、来場者から熱い拍手をいただきました。

また検査場前の会場ではメインイベントの一つ、毎年恒例の「巨大押し寿司アートづくり」が行われました。

60区画に分かれた「田んぼアート2017」のデザインを基に緑色には「野沢菜」、白色には「卵白」、黄色には「卵の黄身」、紫色には「ぎざみ昆布」、赤色には「紅しょうが」、橙色には「山ごぼう」を使用して、原図を見ながら親子や友人同士で協力しながらパー

ツを作りあげ、出来上がった押し寿司を組み合わせ、たて210cm×よこ72cmの巨大押し寿司アートが完成しました。協力して作った押し寿司に会場の皆さんからは拍手が沸きあがり、参加者は完成した押し寿司を囲んで記念撮影をし、その後、押し寿司を切り分け、会場の皆さんに振舞われました。

また今回は、子供たち向けの企画として100馬力を超える大型トラクターと小型トラクターを展示し運転席に乗って記念撮影が行われ、普段見ることのない大きな機械に驚いていました。さらには毎年大好評の「動物ふれあい体験コーナー」も設置し、可愛いミニブタやウサギやポニーたちに直接ふれることができ、子供たちは笑顔いっぱいになりました。

午後3時からは東鷹栖農民連盟による「O×クイズ」が行われ、田んぼアートに関する問題などが出題され、参加者の皆さんは一問一問考えながら回答し、正解が発表されるとため息や歓声が沸きあがり、最後に残った方には商品が渡されました。また、「豊作

祈願の餅まき大会」では、「子供の部」と「大人の部」に分かれて実施され、大勢の参加者が集まり、ミス北海道米もステージに上がり、約2俵分のもち米を使用した紅白もちやお菓子などが盛大にまかれました。

もちまき終了後には、3組のステージライブが行われ、今年も夫婦アコースティックユニット「かのんぷ」をお招きし、J Aたいせつ田んぼアートオリジナル曲などを披露していただきました。

また、2組目には旭川市出身で道内各地で活躍されているシンガーソングライター「児玉梨奈」さんの元気あふれる素敵な歌声を披露していただき会場を盛り上げていただきました。

3組目には、2年連続津軽三味線日本一に輝いた「菅野優斗」さんのステージライブが行われました。会場に響き渡る津軽三味線の音色にステージ前には老若男女問わず、幅広い方達が集まり日本一の演奏に耳を傾けていました。

ステージライブ終了後は実力派団体「旭川北の大地」と「遊ぶすきびく&光一天」の2

組による迫力ある「よさこいソーラン踊り」も披露され、日没頃には、永山屯山(みやま)太鼓の音に合わせて巨大な行燈が登場しました。日没と同時に会場もきれいにライトアップされ、田んぼアートの動物たちが色鮮やかに写しだされ、来場者たちを魅了していました。

イベントの最後となる毎年恒例のたいせつ大抽選会では豪華景品が用意され、景品を楽しみにステージ前にはたくさんの人たちが集まっています。

最後には夜空いっぱい広がる花火が打ち上げられ、「第9回田んぼアートフェスティバル」のフィナーレを飾り、盛会のうちに幕を閉じました。

今年も多くの方々のご協力により盛大に田んぼアートフェスティバルを開催することができましたことを心より感謝とお礼申し上げます。

また、たくさんの方々に会場頂きまして誠にありがとうございました。

第9回田んぼアート



鷹栖中学校吹奏楽部



ブラウセルン&ファンキーディーヴァ



かのんぷ♪



菅野優斗さん



見玉梨奈さん



屯山太鼓



遊〜すさび〜&光一天

たいせつなここがポイント

JAたいせつ営農部 農産販売課

刈り取り時期が遅れると、品質や製品歩留まりの低下につながります。収穫前に下見検査などで玄米の状況を十分に確認し、高品質米が出荷できるよう適期刈取りに努めましょう。



◆適期収穫に向けて！

1 籾の熟色での判断

成熟期に近づくと、籾の黄化は晴天の日で1日あたり3%程度進みます。遅れ穂を除いた籾の90～95%が黄化した時期が成熟期（刈取時期）です。

2 玄米サンプルによる判定

整粒歩合80%以上を目標として収穫日を予測します。整粒60%以上の稲の場合、晴れの日で1日当たり2%程度の青米が整粒になると判断します。ほ場の生育差が大きい場合には、1回だけの判定では困難なので再度玄米判定を行います。また、判定の結果刈取適期が1週間以上先の場合も再度玄米判定をして下さい。

◆次年度に向けてのほ場準備

この時期からの準備が次年度の品質や収量に大きく影響します。本年度の反省を踏まえ、次年度に向けてほ場の準備を始めましょう。

1 適正な稲わら処理

排水不良田では水田外に搬出し、堆肥化して水田に還元しましょう。また、稲わらのほ場焼却に伴う煙は、環境汚染や道路交通障害、健康被害の要因となるばかりか、産地の評価を低下させる大きな原因となります。焼却は絶対に行わず、堆肥等に活用しましょう。

2 稲わらの鋤き込み

鋤き込みは透排水の良好な水田のみとし、実施する場合は収穫後なるべく早い時期に行いましょう。鋤き込み深さは極浅くし（5cm程度）、土と良く混和して下さい。水田内に稲わらを放置しておく、水田の乾燥不良や土壌還元（ワキ）の発生原因となり、初期茎数が十分に確保できなくなってしまいます。また、ケイ酸の吸収が阻害されるなど食味低下の原因にもなります。

3 透排水の改善

収穫後、ほ場内に滞水があると来年の春作業が遅れるとともに、肥料の効きも悪くなりますので、溝切りを実施して透排水性改善を図りましょう。また、苗床や水田の土壌診断を実施しましょう。



1 小麦

◆秋播き小麦のは種準備

①は種前に心土破砕・サブソイラ等の排水対策を実施し、は種適期を逃さないようにしましょう。（表-1）

表-1

品種	は種適期	は種量	基肥（窒素分量）
きたほなみ	9月12～18日	5～7kg/10a	4kg/10a

②連作障害や雑草の繁茂により収量に大きな影響を与えることから、耕起前に必ず雑草処理を行いましょう。（表-2）

表-2

除草剤名	使用量（10a）	使用時期	安全使用基準	対象雑草
ラウンドアップ/マックスロード	200～500ml	耕起前まで	3回以内	イネ科雑草 ・ 広葉雑草
タッチダウンiQ	500～1,000ml	耕起3日以前	1回	
クサトリキング	250～500ml	耕起前まで	3回以内	

③秋まき小麦作付予定ほ場では、pHを測定確認して土壌改良しましょう。目標pHは6.0です。

8月5日（土）たいせつ農協年金友の会合同パークゴルフ大会開催

たいせつ農協年金友の会では、東鷹栖・鷹栖両地区の合同行事としてパークゴルフ大会を鷹栖町丸山パークゴルフ場にて71名の参加により開催しました。

当日は朝から小雨が降りだす難しいコンディションでしたが、松原組合長、山原専務からの激励を受け大会が始まりました。

プレー開始後は雨も徐々に弱まり途中からは着ていたレインウェアを脱ぎ出すほどの好天気の中プレーを楽しみました。参加者皆さんの日頃の練習の成果もあり、9名の方がホールインワンを出す素晴らしいショットが多い大会となりました。

スコアも71名中19名が100を切り、同点スコアも多数おり、1打を争う素晴らしい成績となりました。

大会結果は次のとおりです。（スコアはハンデを含んでいます）

男性の部

優勝 山崎 怜さん（スコア89）

準優勝 木下 勇さん（スコア90）

3位 原 隆幸さん（スコア90）

女性の部

優勝 井上 順子さん（スコア99）

準優勝 坂本 悦子さん（スコア102）

3位 古川 厚子さん（スコア102）



8月19日（土）第59回上川管内総合家畜共進会開催

ホクレン北海道中央家畜市場（旭川市東鷹栖）において第59回上川管内総合家畜共進会「乳用牛の部」が開催されました。

上川管内全体より約50頭の出品があった中、JAたいせつからも45区加藤孝志さんより計6頭が出品、日頃の改良の成果を競いました。

各クラスとも大変レベルの高い牛が揃い体型や資質が競われた中、加藤孝志さん出品の『グリーン



ハイツ レジーニア チャッピー』が未経産ジュニアミドルクラスで1位を獲得、さらに『グリーンハイツ レジーニア マリーン』が未経産ジュニアクラスで1位並びにジュニアクラスのリザーブチャンピオンを獲得されるなど、輝かしい成績を残されました。

8月22日（火）コンプライアンス職員研修会開催

毎年、職員の法令等を遵守する意識向上や不祥事防止のための内部統制確立を目指して開催している「コンプライアンス職員研修会」を業務終了後、常勤役員2名、職員80名参加で実施しました。

開会にあたり松原組合長より「たいせつ農協誕生から約15年間、信用を失墜させるような不祥事等による事故は発生していないし、今後も無いと信じている。」と挨拶をいただき、前段伊藤内部監査課長から不祥事発生メカニズムについて資料説明があり、その後コンプライアンス研修用DVD「①ギャンブル依存症による現金着服」と「②飲酒運転が引き起こす重大な事故」を鑑賞し、それぞれが自分の身に置き換え、企業不正を働くと必ず恐ろしい結果が待っていると改めてモラルを認識し研修を終了しました。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々々のトピックなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBSITEを「ご覧ください」。

JA北海道中央会

昨年12月の「農協改革」に関



する組合員向け資料に引き続き「准組合員制度」についての組合員向け資料を作成しました。

准組合員利用規制に関して、農林水産省が結論を出す期限の平成33年3月末が迫る中、准組合員利用規制が及ぼす影響を、組合員の皆さん一人ひとりが考えるきっかけとしての活用を目的としております。本資料は、准組合員制度の成り立ちや准組合員が地域を支える実態、規制改革推進会議が准組合員利用規制を迫る背景などを、平易な対話形式により表現しております。中央会のホームページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。

JA北海道信連

8月に、小学生の親子を対象とした『旬食力レッジン旭川「収穫・料理教室」』をJAあさひかわの協力を受け開催しました。

大根の収穫体験、収穫した大根を使った料理教室、農業者による講演等を実施するなど、「食材が畑から食卓に並ぶまで」を体験していただき、農業・食の大切さを伝えることができました。参加者には、「農家を身近に感じた」「また参加したい」など好評でした。



ホクレン



↑登録はこちらから



LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信してまいりますので、ぜひお手持ちのスマートフォンやパソコン（<http://hokuren-news.jp/>）から登録ください。

JA共済連北海道

8月4日、札幌にて「全道JA・スマサポ大会」を開催し、全道JAの中から、平成28年度普及活動で優秀成績を収めたJA38名と、スマイルサポーター11名が登壇し、表彰しました。JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しております。様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



理事会からのご報告

平成二十九年七月二十一日第六回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、平成二十九年年度固定資産取得について
固定資産四件、リース一件の取得について原案通り承認決定されました。
- 二、鷹栖給油所コイン洗車機工事用地取得に向けた測量業務の開始について
原案通り承認決定されました。
- 三、定款第五十七条三項による組合と理事の契約承認について
原案通り承認決定されました。
- 四、鷹栖町環境審議会委員の推薦について
小野寺理事を推薦する事が承認決定されました。
- 五、田んぼアートフェスティバルの開催について
原案通り八月十九日開催される事が承認決定されました。
- 六、平成三十年職員採用計画について
原案通り承認決定されました。

監事会からのご報告

平成二十九年七月十四日第四回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、JA監事監査基準及び監事監査規程の改正について
原案の通り改正について検討しました。

「たいせつ」のあゆみ

8月

- 8月1日 企画会議
- 8月5日 年金友の会合同パークゴルフ大会
- 8月19日 第9回田んぼアートフェスティバル
- 8月22日 職員コンプライアンス研修会
- 8月30日 第7回理事会



生産資材課からのお知らせ

農薬の返品について

病虫害防除終了後の農薬につきましては、9月15日(金)までの返品をお願いいたします。これから使用される農薬につきましては、使用終了後の返品で構いません。

※有効期限が過ぎている物や汚泥品、破損・開封済み等の農薬につきましては、返品を受けることが出来ませんので予めご了承ください。

毒劇物の購入の際には、必ず印鑑をご持参頂きますようお願いいたします。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

生産資材係 本所 ☎57-2357
支所 ☎87-4111

第5回 法律相談日のご案内

JAでは農地転売や売買に関する法律問題・相続に関する法律問題を主に日常における法律問題も含めて、弁護士のアドバイスをいただくため相談日を設けましたので、お気軽にご利用ください。

相談日時 平成29年9月22日(金) 午後3時から午後5時

相談場所 本所事務所 2F研修室

弁護士 田代 耕平 氏 (札幌総合法律事務所)

お問い合わせ先 本所 営農部営農支援課 ☎57-2357
支所 鷹栖支所営農施設課 ☎87-4111